

出雲崎の町家における空間構成と 住まい方に関する研究

—住戸ウラにあるダシダナとその使い方について—

新潟大学工学部建設学科4年 横山 大樹

かわらばん
妻入り

事務局

新潟県出雲崎町

教育委員会

☎0258-78-2250

FAX 78-4559

皆さんこんにちは。私は今年の8月から11月までに、出雲崎の町家の空間のつくられ方と住まい方に関する研究を行って、卒業論文を執筆しました。

私が出雲崎で研究しようと思ったきっかけは、5月の連休中に初めて出雲崎の町を訪れた時のことです。その頃、私は町家の研究をしていきたいと思い、新潟県内中を巡って研究対象地を探していたのですが、出雲崎の町には、古くからの町家が数多く残っていて、あまり見かけない蔵の町家が何軒かあったり、町家のウラに地面から浮いた高床式の室があったり、他の地域の町家では見かけない構造の明かり取りの窓があったりと、

どれもこれも私には魅力的な町家ばかりで、自分の研究対象地は「こしかない」と直感し、出雲崎で研究を始めるに至りました。

では具体的に私は何を研究していたのかと言いますと、出雲崎の



町家の海側住戸に見られるダシダナについて詳しく研究していました。

住民の皆さんはダシダナと言うと、「ああ、家のウラ側にあったあれか」と思われるかもしれませんが

が、ダシダナはインターネットで検索してみても、検索結果にはダシダナの紹介などなく、それが何なのかまったく分からないのです。これはインターネットが発達した現在では、かなり珍しい事なのです。

そこで、まず私はダシダナを理解したくなりました。私の研究ではそのダシダナがどういう室・空間であったのかをしっかりと調査し、整理・検証することを行いました。住民の方にダシダナについてお話しをお伺いしていくと、やはり海岸バイパスの埋め立て工事で海沿いの造りが一変してしまい、ダシダナはそのほとんどが残っていないとの事でした。

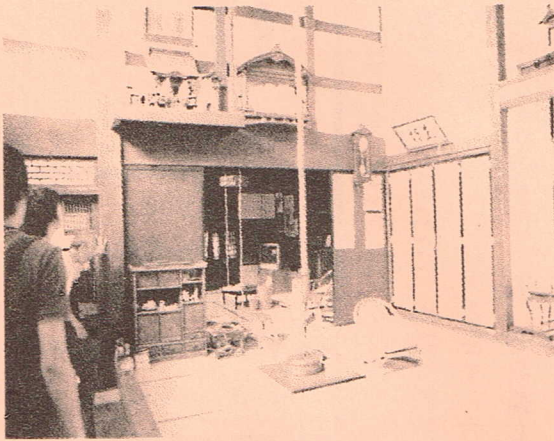
そのような中でも調査を進めた結果、幸いにもダシダナやダシダナの柱などがそのまま残っているお宅を何軒か実測させていただく事が出来ました。その実測の結果と住民の方々のお話しから、単にダシダナといっても、全てのダシ

ダナが同じ造りなのではなく、家主の方の職業によって、造られ方が大きく異なるということが分かりました。このことは出雲崎の町家のウラ側が職業と密接に関係性をもっていたことを表します。すなわち、ダシダナは、町家のウラがすぐ海であった出雲崎の地形と、海に関わる漁師や廻船問屋などの職業の方が多く住んでいた、出雲崎の特徴と文化が、最も良く語られた空間であったという事です。

出雲崎では浜辺を船の格納、網仕事などの漁の作業場として、時には海水浴など行楽の場として、江戸から明治の頃は、廻船などの重要な積荷の荷揚げ場として、昔から実に様々な使い方をして来ました。今回、その出雲崎の浜辺利用の文化に対応して出雲崎のダシダナが造られていることが分かりました。今はもう消えかかっているこのダシダナは、昔からの出雲崎の町家と住まい方と生活の工夫、文化について、たくさんの方の事を私

たちに語ってくれる貴重な財産です。そしておそらく、このダシダナと呼ばれる空間は全国どこに行っても出雲崎の町家にしかない素晴らしいものです。どうか出雲崎の住民の皆様、家のウラ側にひっそりと残っているダシダナ、あるいはその痕跡が残っていたら、これからそれを大事にしていって下さい。私からの心からのお願いです。

最後に、私の研究に快くご協力



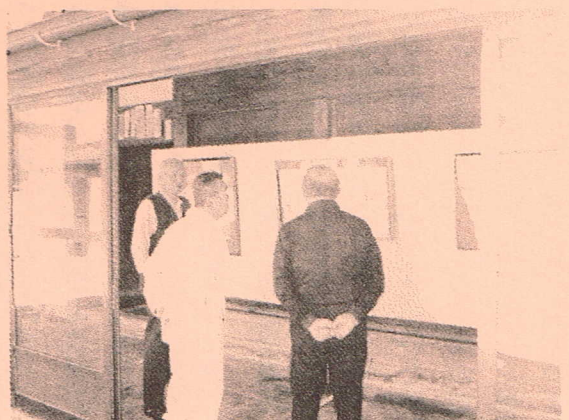
をして下さった出雲崎の皆様にお礼申し上げます。出雲崎の皆様の温かいおもてなしが自分の研究の励みになりました。出雲崎で研究を行い、学ぶことが出来たことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

街並ギャラリー開催

昨年の10月1日(金)から3日(日)の3日間開催しました、「妻入り街並ギャラリー」の模様をお伝えします。

東京芸術大学日本画科の大学生および院生が毎年夏に当町を訪れ街並を描いたスケッチ画を、海岸地区の町屋等に展示する毎年恒例のイベントも今回で6回目となりました。

今回は、昭和63年から平成3年に描かれた作品を中心に、全11会場にて展示しました。展示作品の中には、世界的芸術家・村上隆氏



が東京芸大在籍時に描いたスケッチ画もあり、訪れた多くの方が作品に見入っていました。

また、今年度東京芸大の大学生および院生が当町を訪れた際に、出雲崎小・中学校の児童・生徒を対象に「スケッチ画講習会」を開講していただき、この街並ギャラリーにも中学生の作品を数点展示し好評でした。

3日間で延べ500名を超える方が来場され、成功裡に開催することができました。

妻入りの街(四十)

住吉町 磯野 猛

人物往来 旭 達文

板画家として出雲崎の風景や風俗を詩情豊かに板画の世界に表現された旭達文さんは、羽黒町浄土真宗光照寺の住職で俳人としても心豊かな人でした。俳句の号を黙亭と称し多くの町の人たちからも敬愛されておりました。俳句集団「渚会」は長い歴史をもつ句会で江戸時代から連綿として続けられたものを明治期から佐藤耐雪翁によつて受け継がれ、現在に至つております。昭和二十三年ころ、黙亭さんは渚句会の会員として句作のかたわら趣味の彫刻なども手がけられ小動物や人物像なども作つておられました。その頃出雲崎では良寛の彫刻で著名になつておられた茂木弘次さんも尼瀬におられ俳句会の渚会にも加入しておられました。渚会では茂木さんと共に旭さんを大切な会員として交わつ

て居たようです。

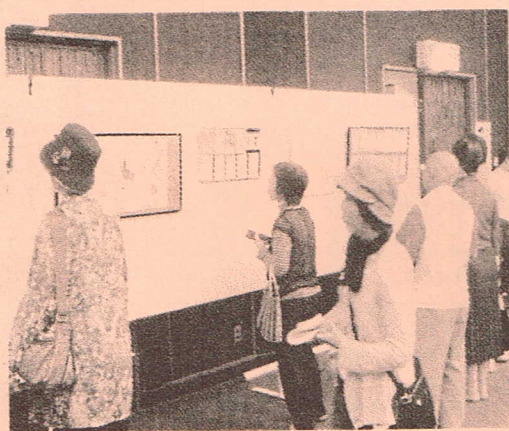
渚会の会報紙(昭和二十六年)

によれば茂木さんと旭さんの記事があり、「海の幸」という彫刻の大作が日展で七回目の入選(茂木弘次氏)と新潟の文化祭展で旭達文さんの「山の男」という作品が五回目の入選という記事があり、渚会では両氏の入選祝賀会を開いています。その後茂木弘次さんは分水町(現燕市)に移住、良寛像を中心とした作家活動を続けられ寺院仏像などにも広く活動されております。一方旭さんは寺僧として宗教家の道を進まれ趣味としての俳句と彫刻を手がけられていました。そんなある日尼瀬の津山家へ来ていた板画家の棟方志功さんが津山さんの案内で光照寺へ寄り、彫刻作品などを見て、旭さんに板画をやりませんか、などと誘い、何度目かには、旭さんもそれではということになり志功さんの指導を受けられることになります。

津山さんは、本名を津山九二さ

んと言ひ、津藤さんの愛称で町中の人々から親しまれておられる方でした。その津山さんが私の家に遊びがてらに立ち寄られた時、「旭さんは志功さんの頼まれ弟子です。」などと語られたものでした。このころから旭さんの板画作品は出雲崎の風景や海と漁業に関わるものが多くなります。

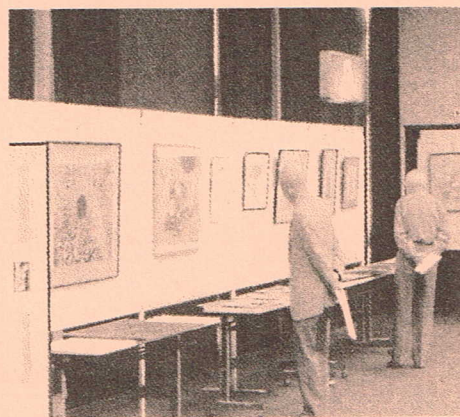
展望坂から見る町の風景と弥彦山などは見事なものです。また磯漁業の「タコ取り」や「ワカメ刈り」など詩情豊かな作品が多くあ



ります。船小屋の縄責め(なわせめ)の様子や鱈漁の水揚げ風景など新鮮で見る人をして心を打たれるような作品でした。町のシンボルのような良寛堂や小木ノ城風景、そして六月の大祭の御輿や八月の船まつり、盆踊りなど情緒溢れるようなものばかりです。また近郷近在の行事、柏崎の綾子舞なども多くの人に喜ばれました。良寛関係では良寛記念館や良寛さまのまつきや良寛像の大作、そして昭和三十二年の良寛生誕二百年祭のポスターなど見事なものでした。私たち俳句会のメンバーは旭さんと呼び、いつも号の黙亭さんを愛称していました。毎月の俳句会でも黙亭さんはいつもおだやかで温かい感じの人で、よくメンバーの句作の様子などを筆でスラスラ書いて笑っておられました。日本板画院の会員に推挙されても、また板画院展に入選されてもいつもと同じ態度で高ぶらず若いものにも温かく接しておられた事を忘れ

昭和五十九年、七十五歳で病没された旭達文さんの作品を一堂に集めた展覧会が、平成二十二年十月一日より四日間開かれ多くの人々に見られました。大好評でした。

黙亭さんは九州長崎の人で昭和七年に羽黒町の光照寺に入られた方で、養父は旭光忍さんで学識の高い方で尼瀬の佐藤耐雪さんや勝井和三郎さん、住吉町の鳥井儀資さんという人々の良き仲間で、俳句もやられ一時期光照寺が渚句会の道場でもありました。



お知らせ

『天神さま街道』開催！
出雲崎・柏崎の各地で天神さまを展示

毎年1月から2月末ごろにかけて、妻入り会館や天領の里で行っている天神さまの展示を、今年は柏崎地区と協同し、「天神さま街道」として開催します。

展示期間は下記のとおりです。

場所により若干異なりますのでお気をつけください。

また、今年も「天神さま講演会」を計画しております。詳細については後日お知らせいたします。

地区	会場	住所	展示期間
出雲崎	①天領の里	出雲崎町尼瀬	1/15 (土) ~ 3/6 (日)
	②北国街道妻入り会館	出雲崎町尼瀬	1/27 (木) ~ 2/25 (金)
	③うつわの店 いづも	出雲崎町尼瀬	1/15 (土) ~ 3/6 (日)
柏崎	④吉田隆介	柏崎市宮川	1/5 (水) ~ 1/25 (火)
	⑤柴長ルーフサービス	柏崎市荒浜	
	⑥ギャラリー十三代目長兵衛	柏崎市学校町	
	⑦ビューティーハウスイヴ	柏崎市 フォンジエ1F	
	⑧高橋功一	柏崎市東港町	1/26 (水) ~ 1/31 (月)
	⑨三忠呉服店	柏崎市四谷	1/5 (水) ~ 1/25 (火)
	⑩オオガケ (文具)	柏崎市四谷	
	⑪痴娯の家	柏崎市青海川	1月中の土・日 (荒天時は休館)
	⑫黒姫公民館	柏崎市野田	1/22 (土) ~ 1/25 (火)
	⑬安田館	柏崎市安田	1/5 (水) ~ 1/25 (火)
	⑭おこめハウスイマイ	刈羽村	

あ と が き

明けましておめでとうございませう。

毎日寒い日が続きますが、昨年の夏は厳しい暑さが続き九月になっても真夏日がありました。体調をこわした人もいたようです。しかし、季節は日々進行し、あつという間に寒い冬になり、春が待ち遠しく思うようになりました。

年をとると一年が早く過ぎてしまいい季節の感覚が無く、カレンダーで季節を思い出す事柄が多くなり、年はとりたくないものだと思います。

猛暑の年は大雪になると聞いたことがあります。今年はどうなるでしょうか。カマキリの巣を時々見ると、異常気象なのか高いところにあつたり、極端に低いところにあつたりします。カマキリにも分からないようです。今年には災害もなく穏やかな一年でありますようにお祈り申し上げます。

石井町 納谷 稔